

各 位

 会 社 名 桂 川 電 機 株 式 会 社
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 渡 邊 正 禮
 (JASDAQ コード番号 : 6416)

 問 合 せ 先 取 締 役 業 務 管 理 本 部 長 太 田 讓 二
 電 話 03-3758-0181

業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年11月12日に公表した業績予想を下記の通り修正するとともに、特別損失の計上を行うこととなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成23年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成23年3月31日) (単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 (単位:円) |
|---------------------------------------|--------|---------|---------|---------|-------------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 11,500 | △ 1,800 | △ 1,900 | △ 1,900 | △ 124.00 |
| 今 回 発 表 予 想 (B) | 11,709 | △ 2,096 | △ 2,175 | △ 2,556 | △ 166.81 |
| 増 減 額 (B-A) | 209 | △ 296 | △ 275 | △ 656 | |
| 増 減 率 (%) | 1.8 | — | — | — | |
| ご 参 考 : 前 期 実 績 (平 成 22 年 3 月 期) | 11,339 | △ 1,608 | △ 1,620 | △ 1,677 | △ 109.50 |

平成23年3月期 通期個別業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成23年3月31日) (単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり当期純利益 (単位:円) |
|---------------------------------------|---------|---------|---------|---------|-------------------|
| 前 回 発 表 予 想 (A) | 8,700 | △ 730 | △ 700 | △ 710 | △ 46.33 |
| 今 回 発 表 予 想 (B) | 6,999 | △ 1,330 | △ 1,565 | △ 1,950 | △ 127.26 |
| 増 減 額 (B-A) | △ 1,700 | △ 600 | △ 865 | △ 1,240 | |
| 増 減 率 (%) | △ 19.5 | — | — | — | |
| ご 参 考 : 前 期 実 績 (平 成 22 年 3 月 期) | 5,627 | △ 1,359 | △ 1,454 | △ 1,517 | △ 99.04 |

業績予想の修正理由

(1) 連結

通期の世界経済情勢は、金融危機に端を発した世界景気低迷の影響も、アジア新興国の景気拡大は好調を維持し、欧州の一部の国で財政危機の影響などにより停滞が見られたものの、米国では緩やかな景気回復が続きました。

しかしながら、当社グループが関連する事務機器業界におきましては、企業の設備投資に対する慎重な姿勢は続き、販売価格競争の激化も相俟って厳しい状況が続いてまいりました。

このような状況下で、当社グループの通期の連結売上高は、円高による為替の影響を受けましたが、前回予想の115億円を、わずかながら1.8%上回る117億9百万円となる見込みであります。

営業利益は、生産体制の見直しや経費圧縮等改善してまいりましたが、原材料価格の上昇や販売価格競争に伴う売上総利益の減少が大きく影響し、前回予想の18億円の損失から20億96百万円の損失、経常利益は為替差損1億38百万円の発生等による減少もあり、前回予想の19億円の損失から21億75百万円の損失、当期純利益は、前回予想の19億円の損失から特別損失3億86百万円等を計上した結果、25億56百万円の損失となる見込みであります。

(2) 個別

個別につきましては連結とほぼ同様の理由によりますが、通期の個別売上高は、前回発表を19.5%下回る69億99百万円となる見込みであります。

営業利益は、業務の効率化やコスト削減による販売費及び一般管理費の節減等では、売上高の減少による影響をカバー出来ず前回発表の7億30百万円の損失から13億30百万円の損失、経常利益は、為替差損2億68百万円の発生等により前回発表の7億円の損失から15億65百万円の損失、当期純利益は、前回発表の7億10百万円の損失から19億50百万円の損失と大きく下回る見込みであります。

また、当期純利益につきましては、「(3)特別損失の計上について」に記載のとおり、当期末において特別損失を計上しております。

(3) 特別損失の計上について

当社を取り巻く環境は、円高の進行、設備投資の抑止、経済状況の悪化等で当面厳しい状況が続くものと予想されます。これらの状況を考慮し、事業計画について慎重に検討を重ね、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき資産の将来の回収可能性、評価額について精査した結果、複写機グループの固定資産の減損損失3億80百万円を特別損失に計上することとしました。

(4) 配当予想について

なお、期末の配当につきましては、市場環境の悪化による業績への影響が大きく、大幅な損失を計上していることから、誠に遺憾ではございますが、当初予想で発表しましたように、配当の実施を見送りとさせていただきます。

早期に株主の皆様にご利益還元が出来ますよう、業績回復に向け一層の経営努力を重ねてまいりますので、何卒ご理解の程お願い申し上げます。

(注) 本資料に記載されている業績予想の修正に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の予想数値と異なる場合があります。

以 上